

# クリックして読むコースのリーディング

—「クリックして読むコース」の実践記録—

## *An Experiment in a "Click Course" class*

和 久 豊

In the days of Information Technology, society and students want different types of English skills in university class. We tutors have to note their request. In this situation, university curriculum begins to supply many choices for a language class: conversation class, business English class, travel English class, computer-based class and so on.

Whether we like such a situation or not, we are gradually changing the form of our English class. And different kinds of attempts have been made. This report is also one of such attempts or "trials and errors". I have tried to show a certain potential of mastering reading skills in my "click course" class in Kansai University.

The point of my class is to use the Internet edition of British or American newspapers and magazines for students to get the skills of skim reading and scan reading. In the course of it, I had to add "extra practice": how to use a computer or the Internet. But many students were interested in my "click course". I believe they understood my method and mastered a "direct reading" on the computer screen.

### はじめに

外国語教育を巡る環境は著しく変化してきている。きっかけは何といても平成2年の文部省（現文部科学省）による「大綱化」である。戦後40年以上続いてきた設置基準が緩和された結果、各大学のカリキュラム決定における自由裁量の範囲が大幅に広がり、外国語教育においても例外ではなかったからである。そうして多くの大学で外国語科目の内容や時間数が見直され現在に至っている。

だが、この“ショック療法”ともいえる「大綱化」は、大学版規制緩和、護送船団方式との決別だったので、ある意味では、外国語教育がどうあるべきかを再考する機会でもあった。なぜなら、他の教養教育科目と同様に、学生・社会のニーズと現実の外国語教育との間には相当のズレが生じていたからである<sup>1)</sup>。関西大学における外国語科目（英語）の多様化も、当然のことながらこの流れの一環として捉えられる。

本稿はその中で昨年度から始まった「クリックして読むコース」の平成13年度の実践記録である。筆者が担当したのは工学部の1年生2クラス100名。実施回数は4月～5月にかけての5回である。

### 1-1. リーディングスキルの理解

「クリックして読むコース」が情報処理室のパソコンの前に座って行なう授業形態を取るといっても、このコースは情報基礎の授業ではない。受講生にはこのコースが「外国語の授業」の一形態であることを周知させる。まず、リーディングには、目的に応じてさまざまなスキルがあることを理解させる必要がある。というのも、学生たちの多くの英語学習は、いまだに「英文解釈」と「英文法」の域を出ていないし、相も変わらず英文を日本語に翻訳しないと納得しない傾向があるからである。従って、①リーディング概念の理解と②リーディングスキルの練習を「クリックして読むコース」の準備項目とする。次に、インターネット上の英文ウェブサイトを利用するのは、全世界のサイトの8割近くが英文による情報であり、それらを処理しないことは宝の山を捨てることに等しいことを理解させる。

筆者の担当する「クリックして読むコース」では、最初の時間をリーディングスキルの概念理解にあてる。その教材としては、Don McGovern の *Reading* から *Reading Strategies and skills* を使用する<sup>2)</sup>。その10項目の戦略と技術のうち、とくにスキミング (Skimming) とスキヤニング (Scanning) に焦点をあてて、詳しく説明し、それらの練習問題にも取り組ませる<sup>3)</sup>。

こういった理解と練習は、クリックコースでのパソコン画面上での読みを実施する前に必要欠くべからざる作業、読みに対する概念の変更を求める作業である。“受験英語”を突破してきた新入生にとって、新聞や雑誌の英文記事を読むにはそれなりの“読みの技術”が必要であり、高等学校までに修得した“技術”だけでは十分とは言い難いからである。

また、一部の受講生の“英文アレルギー”を取り除く意味でも、リーディングスキルの理解と練習は効果的である。たいていの学生は *The Times* や *The Washington Post* などの英米の新聞、*Time* や *The Economist* などの雑誌やそれらのインターネット版など開いたこともない。そういった学生たちに“英語障壁”を抱かせたまま英文を読ませても効果はあがらない。喩えていえば、戦闘機に竹槍で応戦するに等しい。

### 1-2. パソコンの操作

準備段階としてもうひとつ必要な事項がある。それは機器の取り扱い方である。語学の授業として、それは守備範囲外だという意見もあるが、入学したばかりの受講生では、パソコン操作の慣れ、不慣れの差はきわめて大きい。担当者とTAの巡回だけでは対応しきれないこの差を埋めるため、パソコン操作に慣れていない受講生を基準に考え、必要最低限の操作ができるように配慮している。幸いなことに、受講生のパソコン操作は年を追うごとに格段の進歩をみせているので、あと1~2年もすればこの必要は無くなるだろうが、現段階では次の項目を準備段階として取り上げている。

- ① Internet Explorer によるインターネット接続及びウェブページ閲覧

## クリックして読むコースのリーディング (和久)

- ② サーチエンジンを使った検索
- ③ フロッピー・ディスクのフォーマットとファイル作成
- ④ ワードによる文書作成と保存

ある程度パソコンの知識のある者には信じられないだろうが、新入生の中には、このうちの③と④を取上げたことを、「クリックして読むコース」の学生評価の中でプラス評価する学生が意外に多い。恐らく、これはある種のデジタルデバイスが、家庭間や高等学校の普通科と専門科の間に存在していることを示していると考えられる。

パソコンの利用形態調査<sup>4)</sup>

	関大・工学部 (1年生)	栢山女学園大 (2年生)	栢山女学園大 (3年生)
個人でPCを持っている	21名 (21%)	35名 (31%)	26名 (58%)
PCは家で共用している	49名 (49%)	65名 (60%)	16名 (35%)
大学のPCを利用する	30名 (30%)	10名 (9%)	3名 (7%)

\*調査人数は、関西大学工学部 (100名)、栢山女学園大学生生活科学部 (2年生110名、3年生45名) である。受講科目名は順に「英語Ⅱ」(クリックして読むコース)、「インターネットと英語」、「実務英語表現法5」(いずれも平成13年度) である。

## 2. 「クリックして読むコース」の実践例

4月から5月にかけて実施した5回分の実践例は次の通りである。この中で、新聞や雑誌の英文記事を直接読む作業ばかりではなく、その周辺部分にあたる記事の検索、少しずれるが図書館や書店の「書籍の検索」、日本の学術サイトの検索も含めているのは、総合的に受講生の関心を高めるようにした結果である。

April 21, 2001

## クリックして読むコース (第1回)

### 1. まずコンピュータを立ち上げてみましょう。

- ① 右側の本体の **Power Switch** (○) を **push** して電源を入れて下さい。  
(モニターも同時に入ります。) \*wait a minute, please.
- ② 画面にあらわれた “Internet Explorer” のアイコンをマウスの左ボタンでクリックすると、

**User ID:**

**Password:**  を聞いてくる

ので、各自インプット (入力) する。(まだ取得していない人は、隣の人のを一時借りて入力なさい。) →  を **click!**

- ③ 「関西大学情報処理センター」の画面にかわる。

アドレス： にサーチエンジン（検索エンジン）

Yahoo! の住所 <URL>（<http://www.yahoo.com>）を打ち込む。「入力モード」は英文の場合は“直接入力”、日本語の場合は“ひらかな”を選ぶ。

→  Return Key（Enter Key）を press → Yahoo! の画面が現れた？

さあ、これで世界のHP（ホームページ）につなぐ準備が完了しました！！！！

## 2. まず簡単な英米の新聞・雑誌の Web site へ襲いで、開いてみましょう。

**課題 1** アメリカの新聞 *USA TODAY* につなごう

- ① アドレス： に *USA TODAY* の URL をタイプする。

*USA TODAY* = <http://www.usatoday.com>

- ② →  Return Key を press（wait a minute）→ *USA TODAY* の画面に

- ③ 下線のある部分は更に関くことができます。〈しばらく、好きなニュースをサーフィンして楽しんで下さい〉

**課題 2** イギリスの代表的な新聞 *The Times* につなごう！

つなぎ方は **課題 1** と同じです。（*The Times*：<http://www.thetimes.co.uk/>）

本日のトップニュースは何ですか？

( )

**課題 3** 日本の朝日新聞につないでみよう

サーチエンジンを“ヤフージャパン”に変えて検索した方がベターです。

Tips（コツ）：“Yahoo! Japan” = <http://www.yahoo.co.jp>

Tips（コツ）：朝日新聞 = <http://www.asahi.com>

## 3. 関西大学「図書館」（KOALA）で蔵書を検索しよう。

インターネットは、いろんな分野での利用が可能です。次は、みなさんの図書館へつないで、蔵書を検索してみましょう。関西大学の URL（Uniform Resource Locator）はご存じですか？ 関西大学 = <http://www.kansai-u.ac.jp> ですね。

- ① アドレス： に上の URL を打ち込む。

- ② “Enter key”（Return key）を press

- ③ 図書館の中から“KOALA”を探す

**課題 4** 国際政治学・国際関係史・文明史などの分野の学者・中西輝政（なかにしてる

まさ）の著書・翻訳を読みたい。最低3冊検索しなさい。

例： 中西輝政『なぜ国家は衰亡するのか』（PHP選書、2000年）

- ①
- ②
- ③

**課題5** “捨てる技術”に関する本を3冊検索しなさい。

- ①
- ②
- ③

\*時間帯によっては画面がなかなか変わらない時があります。 **課題2** と **課題4** **課題5** が検索できなかった人は、「情報処理教室」等で休み時間等を利用して検索しておきなさい。

### 超若葉マークの人へ

**豆知識1** : マウスには「左ボタン」と「右ボタン」とがあります。今日使うのは左ボタンだけです。

**豆知識2** : **クリックする** とは、マウスの「ボタン」を1回だけ“カチッ”と押すことです。

**豆知識3** : **ダブルクリックする** とは、マウスを2回“カチ、カチッ”っとリズムカールに押すことです。(できない? あなたはオバサマ・オジサマ並みの反射神経? の持ち主です。)

**豆知識4** : **ドラッグする** とは、マウスの左ボタンを押したまま、操作したい範囲をズルズルっと移動させ、反転させることです。

\* 次回、3.5 inch フロッピーディスク (floppy disk, or floppy disc) を1枚準備してきて下さい。次回は“フォーマットする”レベルから開始する予定です。

April 28, 2001

## クリックして読むコース (第2回)

### 1. フロッピーディスクをフォーマットする

\*すでにフォーマット済みのFDを持参した人は「2. ファイルを作る」へ進んでください。

今日はこれから保存用に使用するFDをフォーマットします。手順は次の通り。

- (1) コンピュータ画面の“マイコンピュータ”のアイコン (絵記号) を double click!
- (2) 3.5インチFDを選び、マウスの“右ボタン”を click!
- (3) “フォーマット”を選び、“通常のフォーマット”を選択 (ポインターで click)  
(ここでフロッピーを入れる)

- (4)  を click! 〈wait for about three minutes...〉
- (5)  を Click して完了です。

## 2. ファイルを作る

- (1) 左下  を開いて、“プログラム” 中から “word” を選びます。
- (2) “word” の画面になりますから、前回の課題の答えをタイプ入力して下さい。
- (3) 左上の “ファイル” を開いて、“名前を付けて保存” を選びます。
- (4) ①まず、保存先を “3.5 インチFD” にします。②次に、ファイル名を決めます。  
〈この場合は、“クリック” とか “Click course” とか、何についてのファイルかがわかるようなファイル名を心掛けてください。〉 ③最後に、 をクリックする。
- (5) これで、ファイルが作成されました。次回からは、このファイルを開いて、2 ページ目から続けて入力したり、1 ページの修正をしたりします。  
→ 2 回目からこのファイルを保存する場合は、“上書き保存” です。  
\* 次回から作成したファイルを呼び出すには：  
①フロッピーを入れる → ②マイコンピュータを double click → ③3.5 inch FD を double click → ④ “click course” のファイルのアイコンを double click という手順でこのファイルを開きます。

## 3. 「上書き保存」を試みよう!

- 英米の代表的な雑誌 (Magazine) である、*The Economist* (UK) と *Time*, *Newsweek* (US) の URL (uniform resource locator = HP の住所) を調べて、フロッピーに保存しなさい。

ヒント: 前回同様、サーチエンジン (Yahoo! = <http://www.yahoo.com>) などで調べなさい。

## 4. イギリスの新聞をチェックし、保存する

- The Times* (UK's newspaper) につなぎ、小泉純一郎のニュースの “Headline” (見出し) をチェックし、ファイルに保存しなさい。

## 5.

*The Washington Post*, *The New York Times*, *The Guardian*, *The Independent* 等の欧米新聞の URL を調べ、小泉純一郎のプロフィールをチェックし、ファイルに保存しなさい。

## 6. “Dave's ESL Café” (<http://www.eslcafe.com>) で英語を “Brush up”!

- ESL Café* の “Quizzes” を開き、“Grammar” 等で英語力を判定しなさい。

### クリックして読むコース (第3回)

#### 1. 情報検索する

連休中に、日本と北朝鮮間の外交問題になる“事件”が起きました。例の金正男（キム・ジョンナム=Kim Jong Nam）なる人物の偽パスポート入国未遂事件です。まことに不可解な事件でした。

**課題 1** 英米の新聞で、金正男の事件に関する“記事”を検索しなさい。

**Tips** (コツ) : *The Times*, *The New York Times*, *The Washington Post* などの新聞につき、その中の search  で、キーワード (検索語) をいれて探す。

**課題 2** 検索した記事を前回作ったファイルに“copy & paste”しなさい。

**Tips** (コツ) : ネット検索した記事を“copy & paste”したいときは、ブラウザソフトは、*Internet Explorer* を利用する方がベター。また、画像 (写真) は、文章とは別に“copy & paste”する。

**課題 3** 貼りつけた欧米の“記事”から、“事件のあらまし”を簡潔にまとめ、課題2の下に、“日本語” (できるだけ“英語”) で説明しなさい。

**課題 4** 参考のため、日本の代表的な新聞・朝日新聞につき、“金正男事件”を検索し、政府の対応が一番よくわかる“記事”を“copy & paste”しなさい。

#### 2. ヴァーチャル・ブックショップで本を検索しよう

前回、関西大学の総合図書館内の“KOALA”で蔵書検索の練習をしました。今回は、有名なアマゾン・ドット・コム (**Amazon.com**) で“本探し”に挑戦です。

**課題 5** *The English Language — Structure & Development* —の①著者 (author) ②出版社 (publisher) ③出版年 ④値段 (price) を調べなさい。

**Tips** (コツ) : Amazon.com = <http://www.amazon.com/> につき、Books の項目で Search しなさい。

**課題 6** Michael McCarthy の著書を 5 編検索しなさい。

#### 3. 時間に余裕のある人は、“Dave’s ESL Café” (<http://www.eslcafe.com>) で英語を“Brush up”! しなさい。

### 第3回参考資料

#### 1. 文章の“copy & paste”の手順：

- (1) コピーしたい部分をマウス左ボタンを押したままズルズルっと移動させ“反転”させます。
- (2) 画面左上の“編集メニュー”を開き、“コピー”を左クリック
- (3) 記事（この場合は）のページを最小化する（ をクリック）
- (4) 貼り付け先の“ワード”のファイル（この場合、Click-courseのファイル）を、  
① マイコンピュータ → ② 3.5 inch FDのアイコンをdouble click → ③ ファイルのアイコンをdouble clickの順に開いて、貼り付け先にカーソル（ポインター）合わせ、左ボタンをクリックする。
- (5) 画面左上の“編集メニュー”を開き、“貼り付け”を左クリック
- (6) 貼り付け完了です

#### 2. 画像（写真）の“copy & paste”の手順：

- (1) コピーしたい画像（写真）の上に、マウスでポインターを合わせる
- (2) マウス“右クリック”する
- (3) “コピー”を選んでマウス左クリック
- (4) 以下、文章の場合と同じ手順で貼り付ける

#### 3. 画像の移動・拡大・縮小

- (1) 貼り付けた画像（写真）の上にポインターを移動させ、左ボタンをクリック
- (2) 画像のまわりに  がついた状態になる
- (3) 縮小・拡大したい時には、四隅にポインターを置くと、 $\leftarrow \rightarrow$  の状態になるので、この状態で行なう。
- (4) 移動は マウス左ボタンを押したまま、前後・左右に移動させる

May 19, 2001

### クリックして読むコース（第4回）

#### 1. スキミング（*Skimming*）& スキャニング（*Scanning*）の必要性

クリックして読むコースでは、インターネットの Web Site (Home page) 上の英文をそのままザッと読むことを目標のひとつに上げています。その為に、初回に配布プリン



トで触れた“読みの技術”(ex. Skimming, Scanning etc.)が必要となってきます。

## 2. 英文記事をスキヤニングしよう

**The New York Times** (May 14, 2001: "Japan to Examine Textbook Complaint") につ  
なぎ、次の質問に答えなさい。(Do this by *Scanning*.)

- (1) Who has criticized the Japanese Government ?
- (2) What do the critics say they (the eight texts) gloss over ?
- (3) How many revisions did the South Korean Government demand ?
- (4) What does the Japan's Education Ministry plan to do ?
- (5) What type of women were the so-called "comfort women" ?

**Notes:** gloss over = うわべを取り繕う、atrocities = 残虐行為、  
"comfort women" = (従軍) 慰安婦、revision = 修正

\* どうしてもわからない語句は「英辞郎」(<http://www.alc.co.jp>) で探しなさい。

## 3. **The Times** (British newspaper) May 15, 2001 の記事 "Reformer challenges Japan's mandarins" を探し、次の問いに答えなさい。(You should use both reading skills.)

- (1) What kind of article is this ? (by skimming)
- (2) Who is this "Reformer" ? ((2) to (5) by scanning)
- (3) Who are resisting her orders ?
- (4) What is Ms Tanaka popular for ?
- (5) According to "one opinion poll", what do the Japanese people think of "that kind of battle" ?

**Notes:** mandarins = 高級官僚、hidebound = 融通のきかない、保守に凝り固まった、  
poll = 世論調査、take on ~ = 敵を相手にする

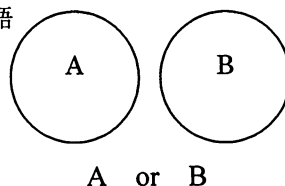
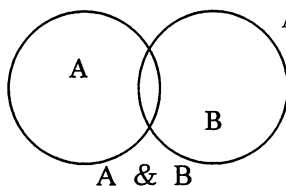
\* 検索の仕方

① **AND** 検索

② **OR** 検索

① はより絞って検索したいとき

② はより広く検索したいとき



#### 4. 蔵書検索参考資料

第1回目で、関西大学総合図書館の蔵書検索（KOALA）で検索する練習はしました。他にも、大学生活を送る際、利用するのにとても便利な検索サイトがあります。

今回はそれらのうちの代表的なサイトを紹介します。インターネットの強みは、自宅にいながら検索できるにありますから、各自の専攻分野でレポートや論文を書くときの資料収集に役立ててください。

##### ○ 国立国会図書館のデータベース <http://www.ndl.go.jp>

この図書館（東京・永田町）には、1948年以降に収蔵した和書200万件と、1986年以降に収蔵した洋書20万件的データベースが入っています。トップページの「Web Opacの検索」をクリックし、検索画面に入ります。

尚、URL 中の ndl は、“National Diet Library”（国立国会図書館）の略です。

##### ○ NACSIS Webcat <http://webcat.nacsis.ac.jp>

国立情報学研究所（旧文部省学術情報センター）が運営する学術書の検索サイト。本のタイトルを入力すると、その本がどこの大学図書館にあるかがわかる。学術書の所在地を知るには“すぐれもの”のサイトである。

##### ○ Library of Congress Catalog <http://lcweb.loc.gov/catalog/>

世界最大の蔵書量を誇るアメリカの議会図書館が作成。利用する時間と検索する資料の種類によって、4種類の検索カタログを使う。

##### ○ 世界の図書館 <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/other/other lib.html>

筑波大学附属図書館が提供している、日本を含む、世界約54カ国に及ぶ図書館のリンク集。

May 26, 2001

#### クリックして読むコース（第5回）

1. 前回に引き続き、“クリックして読む” = 英文ニュースを画面上でスクロールダウンしながら読む練習をします。この読み方をするには、Scan Reading（or scanning）の技法が必要です。スキャン・リーディングとは、「ある特定の情報を得るための、素早い読みの技術」のことです。この読みの技術は前期の初めに取りあげた通りです。

#### 課題1

BBC のホームページにつなぎ、わが皇太子の訪英のニュースを検索しなさい。

(BBC は英国を代表する放送局で、日本の NHK みたいな存在です。)

**Tips:** BBC = <http://www.bbc.co.uk/>  
keyword = Japanese prince

**課題 2** “*Japanese prince visits UK*” の記事を読んで次の問いに答えなさい。

答えは F D 内の “この時間用のファイル” に保存しなさい。

1. What is the name of the Japanese prince ?
2. How long is he going to stay in the U.K. ?
3. According to the article, who showed him around Windsor Castle ?
4. How old is he (the prince) ?
5. How do you say “妊娠している” in English ?
6. What is “*Japan 2001*” ?
7. When will he (the Japanese prince) visit Oxford ?
8. What part of the U.K. is he going to tour on the final day of his visit (on Thursday) ?
9. Where is he going to stay during his visit ?

**Notes:** Windsor Castle = ウィンザー城、launch = ～を始める、 heir = 継承者  
Merton College = マートン学寮、 thesis = 論文

**課題 3** BBC 以外の英国の新聞では、皇太子の訪問はどのように報道されているか、検索して、“見出し” (headline) を抜き出しなさい。

**Tips:** *The Times* = <http://www.thetimes.co.uk/> (quality paper)  
*The Guardian* = <http://www.guardian.co.uk/> (quality paper)  
*The Mirror* = <http://www.mirror.co.uk/> (tabloid paper)  
*The Sun* = <http://www.thesun.co.uk/> (tabloid paper)

(第 5 回の裏面)

2. ワシントンポスト紙から小泉首相の最新記事を検索し、内容を理解しよう。

**Tips:** ① *Washington Post* (<http://www.washingtonpost.com/>)  
② “world” を選ぶ ③ “site search” に keyword をタイプして “go”  
③ *May 19, 2001* の記事 (For Japanese, a Typical Tale of Divorce) が一番新しい。

**課題 4** **Tips** を参考にして、ワシントンポスト紙から小泉首相の記事を検索しなさい。

The headline is “*For Japanese, a Typical Tale of Divorce*”

**課題 5** 記事を読んで次の質問に答え、ファイルに保存しなさい。

- (1) When did Prime Minister Koizumi get divorced ?
- (2) How many children did Mr Koizumi and his wife have then ?
- (3) What is his former wife's name ?
- (4) "a male heir" = ( in Japanese )
- (5) Has Mr Koizumi met "his" youngest son ?
- (6) According to Hiromi Ikeuchi, what is a big difference between the American idea of "family" and the Japanese idea of "house" ?
- (7) By what type of arrangement did Koizumi and Miyamoto marry ?
- (8) How long did their marriage last ?
- (9) On the point of allowing her to see her two children, did Mr Koizumi keep his promise?
- (10) What did Mr Koizumi give her as his first present to her ?

**Notes :** custody = 保護 (後見) の権利、親権    divorce = 離婚する、離婚  
 raise = 生む    maverick = 一匹狼    illustrious = 有名な    legal = 合法的な  
 ex-husband = 元夫    inherit = 継ぐ、相続する    nurture = 養育する  
 successor = 後継者    matchmaker = 仲人    pharmaceutical company = 製薬会社  
 wedding banquet = 結婚披露宴    bride = 嫁    compound = 作り上げる、  
 混ぜ合わせる    pregnant = 妊娠している    court = 法廷、裁判所  
 confrontation = 対決、衝突

**課題 6** 上の記事の内容の範囲で、小泉首相の“略歴”を英語 (または日本語) で簡潔にまとめなさい。

以上が5回分の準備した「クリックして読むコース」のハンドアウトであるが、作成上の留意点について触れておきたい。第一に、取上げる教材はできるだけ新しい記事で、話題性に富んだものに限った。なぜならば、受講生が1年生ということもあって、英文記事以外の文化的背景に困難さを感じる可能性が高くても、日本のマスコミで取り上げていれば背景知識による援護が期待できるからである。第二に、語彙のバリアーをなくすため、受講生には難しいと感じる語句には思い切って注をつけた。また、手元に辞書がないことを想定して、ネット上の辞書 (英辞郎 *on the Web*) の利用を促した。第三に、先にも触れたように、インターネット情報を“丸ごと理解する”作業の一環として、各種の情報検索も含めた。第四に、「やりっぱなし」を避け、課題に対してきちんと答えさせるために、フロッピーディスクに保存させた。フォーマット、ファイルの作成 (第2回) や copy & paste (第3回) 等を含めたのはそのためである。

### 3. 「クリックして読むコース」の利点と反省点

このコースを終えてみると、功罪相半ばといったところである。まず、利点としては次の点があげられよう。普通教室での一斉授業に較べて、受講生各自がそれなりに関心を持って取り組める。この期間中、小泉首相誕生、金正男なる人物の不正入国未遂事件等々話題性に富む記事に事欠かなかったことにもよる。その後、9月に入ってから同時多発テロ、12月の愛子内親王の誕生、日本近海の不審船等の事件に関しても、わが国の報道と海外の報道との比較が可能である旨、授業中に教示できたことは有意義であった。

次に、TAと共同で机間巡視ができるので、パソコン操作に関する質問はTAにまかせて受講生のレベルに応じた個別指導が可能である。当然のことながら、これを可能にするためには、毎回、授業のハンドアウト作成が不可欠である。第三に、リーディングスキルの応用・実践がある程度できたことである。この点では個人差があり、最後までスキミングに苦しむ受講生もいたが、多くは英文記事の構成や仕組みをそれなりに理解して取り組めるようになったと思われる。最後に、少なくともパソコン画面に向かっている間は、「訳読方式」から脱却できていたことである。

反省点も2～3ある。受講生の間で、リーディングスキルの理解とパソコン操作にバラツキがあるため、1時間分の授業内容に幅をもたせて設定しておかないと、慣れている受講生が時間を持て余す可能性がある。逆に内容を増やすと時間内に終われない受講生も出てくる。授業時間外でも自分で取り組めるよう、ハンドアウトは詳しく作成しているつもりだが、これは欠席学生の扱いと同様に今後の課題として残っている。

#### 4-1. 受講生の授業評価

「クリックして読むコース」に対する学生の評価は、7月に担当者である筆者が行なったアンケートと12月実施の全学共通教育機構による「学生による授業評価」のうちの“自由記述”をもとに総括してみるしかない。結果はおおむね好意的に受け止められている。しかし、圧倒的に「もっとPCを使う時間を増やしてほしい」という意見を書いている受講生が多い。この点は、情報処理教室の使用を前期12回を2人の担当で調整しているので5～6回が限度で、それ以上は物理的に不可能なのだが、後期にもPCを利用するよう検討する余地はある。

#### 4-2. 「クリックして読むコース」を終えて

問題は学生がなぜパソコンを使った授業を求めるのか、その原因を探る必要がある。だが、アンケートからも、普段の受講生との対話からも、確たる理由はわからない。このコースは、履修の最初にも説明しているように、ネット上の英文などをそのまま処理する能力を磨こうという趣旨で、パソコンはその手段として使用している筈である。パソコンを使わない授業

時間との比較で、PCを使う時間を増やしてほしい、または、情報処理教室の方が気楽に授業を受けられる、というのが学生の本音だとすれば、本来の「クリックして読むコース」の成果は期待できないことになってしまう。

担当者としては、パソコンを使うのは副的なことがらであって、主として、大量の英文を目的にあった読み方で処理する方法を身に付けてほしいのだが、受講生の思いとはいささかのギャップがあるようである。

#### 注

- 1) 平泉・渡部の「会話重視か読解重視かを巡る論争」以来の英語教育を巡るさまざまな論争。澤井繁雄『誰がこの国の英語をダメにしたか』（生活人新書、2001年）pp.84-85.
- 2) Don McGovern, *Reading* (Hertfordshire: Phoenix ELT, 1995), pp.2-6.
- 3) Skimming, scanning の練習としては、Beatrice S. Mikulecky & Linda Jeffries, *More Reading Power* (USA: Addison-Wesley Publishing Company, 1996), p.139, pp.28-29. や *Passport to IELTS* (Sydney: Phoenix ELT, 1989), p.27. を使用した。
- 4) 利用形態調査は、関西大学工学部「英語Ⅱ」（通年科目）の受講生には7月の前期末、相山女学園大学の「インターネットと英語」「実務英語表現法5」（半期科目）の受講生には7月の前期末と12月の中旬に学生による授業評価の形式で行った。

#### 参考文献

- 朝尾幸次郎・斉藤典明編『インターネットと英語教育』（大修館書店、1996年）  
インターネット協会監修『インターネット白書2001』（インプレス、2001年）  
関西ブックマップ編集委員会編『関西ブックマップ』（創元社、2001年）  
澤井繁雄『誰がこの国の英語をダメにしたか』（生活人新書、2001年）  
東京ブックマップ編集委員会編『東京ブックマップ』（書籍情報社、2000年）  
Diana Hopkins and Mark Nettle, *Passport to IELTS* (Sydney: Phoenix ELT, 1989).  
Don McGovern, *Reading* (Hertfordshire: Phoenix ELT, 1995).  
名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科公開講座委員会編『インターネットと英語学習』（開文社出版、2001年）  
Beatrice S. Mikulecky & Linda Jefferies, *More Reading Power* (USA: Addison-Wesley Publishing Company, 1996).

資料 1 : Skim Reading & Scan Reading の概念説明のための資料 (from *Reading*)

## Reading strategies and skills

1. Predicting
2. Skimming
3. Scanning
4. Detailed reading
5. Guessing unknown words
6. Understanding main ideas
7. Inferring
8. Understanding text organisation
9. Assessing a writer's purpose
10. Evaluating a writer's attitude.

### 2. SKIMMING

Skimming involves reading quickly through a text to get an overall idea of its contents. Features of the text that can help you include the following:

- (a) Title
- (b) Sub-title(s)
- (c) Details about the author
- (d) Abstract
- (e) Introductory paragraph
- (f) First, second and last sentences of following paragraphs
- (g) Concluding paragraph.

A text may not contain all of these features – there may be no abstract, for example, and no sub-titles – but you can usually expect to find at least (a), (e), (f) and (g). Focusing on these will give you an understanding of the overall idea or gist of the text you are reading – in other words, a general understanding as opposed to a detailed reading.

Another term for this kind of reading is *surveying*. Surveying can be described as looking quickly through a book, chapter of a book, article from a journal, etc., to decide whether or not it is suitable for your purpose. To decide whether or not a text is suitable, especially if it is a book, you will also need to focus on the following features in addition to those mentioned above:

- (a) Edition and date of publication
- (b) Table of contents
- (c) Foreword
- (d) Introduction
- (e) Index.

### 3. SCANNING

When you scan a text, again you look quickly through it. However, unlike skimming, scanning involves looking for specific words, phrases and items of information as quickly as possible. In other words, scanning involves rapid reading for the *specific* rather than the general; for *particular details* rather than the overall idea.

When you read a text, for example, you may want to find only a percentage figure or the dates of particular historical events instead of the main ideas. Scanning will help you find such information more efficiently.

資料 2 : Scan Reading の練習教材 (from *Passport to IELTS*)

### Practice 1

Answer questions 1-4 as quickly as possible using the text below. Use your watch to time yourself. It should take you 1 minute:

- 1 How much of the human body is water?
- 2 How much water does the average person use for bathing?
- 3 How many people die per day from diseases related to dirty water?
- 4 How many litres of water does it take to make one pair of leather shoes?

<p>The human body is about 65 per cent water. If you stopped drinking water (or drinks and food containing water) you would die within three or four days. But the water you drink must be clean.</p> <p>Each day an average person uses the following amounts of water:</p> <table border="0"> <tr> <td>Toilet flushing</td> <td>35 litres</td> </tr> <tr> <td>Cooking and drinking</td> <td>30 litres</td> </tr> <tr> <td>Bathing</td> <td>30 litres</td> </tr> <tr> <td>Using a shower</td> <td>12-20 litres</td> </tr> </table> <p>The average daily total per person is 140 litres. The</p>	Toilet flushing	35 litres	Cooking and drinking	30 litres	Bathing	30 litres	Using a shower	12-20 litres	<p>average family uses 480 litres of water a day.</p> <p>Water can carry diseases. According to a recent report published by the United Nations, every day throughout the world about 25 000 people die from diseases related to dirty water.</p> <p>It takes 31 600 litres of water to make one car and 4124 litres to make one tonne of steel. It takes 53 litres of water to make one pair of leather shoes and 9 litres of water to make every comic that you read.</p>
Toilet flushing	35 litres								
Cooking and drinking	30 litres								
Bathing	30 litres								
Using a shower	12-20 litres								



資料 3 : Skim Reading の練習教材 (from *More Reading Power*)

## Skimming news stories and magazine articles

### exercise 5

➤ **A. Read the questions and then skim the news story for the answers. Work as quickly as you can. (Not more than two minutes for the skimming!) Compare your answers with another student.**

1. What has happened to the three children from South Carver?
2. What do the people in South Carver think about the situation?
3. What do you think will happen to them?

THE BOSTON MAIL • Sunday, February 12, 1995

## All-night search for 3 missing children in South Carver

by Ellie Nashima

**SOUTH CARVER** - Several hundred people—police, firefighters and volunteers—searched a large area of swamp-land and woods for three children who disappeared yesterday afternoon.

The children, Seth and Cindy Erland, 7 and 5, and their cousin Bruce McCaffy, 11, were last seen playing near the Erland's home on Kingston Street at about 3:30 p.m. and were reported missing about four hours later, said Carver Police Sgt. Dan Preston.

The rescue efforts were hampered by winds of 20 to 30 m.p.h. and rain mixed with sleet and snow. Temperatures last night hovered around freezing and police expressed concern about the physical condition of the children.

The searchers formed human chains to try to cover all of the 4- by 5-mile area of the swamp. The search teams included State Police, Civil Defense officials, Carver, Plymouth and Middleboro police officers and firefighters, Coast Guard officers, and several hundred volunteers from as far away as Brockton and Attleboro. Up to seven bloodhounds and German Shepherds were being used in the search, along with floodlights and

infrared lights from the Coast Guard helicopter.

By late last night, there was no sign of the children or their belongings. Earlier, some footprints had been seen in the snow which may have been made by the children, but they were washed away by the rain.

Seth is 4' 4" tall and weighs about 60 pounds. He has light brown hair and was wearing a navy jacket with red stripes.

Cindy is 4'3" and weighs about 55 pounds. She has long brown hair and was wearing a purple jacket with a pink hood.

Bruce is about 4'10" and weighs 85 pounds. He has short, brown hair and was wearing a red jacket and jeans.

A fourth child was playing with them in the woods during the afternoon, according to the police. The boy reported that they had all fallen into the swamp. He had taken a different route in getting out and had become inadvertently separated from the group.

The boy, whom police said is about 11 years old, managed to find his way home. He arrived at about 5:00 p.m. and reported the other children missing. Though he was wet and cold, he did not require medical attention.

The boy also said that the Erland's dog had been with the children when

they fell into the swamp. The dog returned home alone at about 6:00 p.m.

Carver Police Chief Anthony Marino warned of the danger of searchers getting lost. Some parts of the swamp are "up to our shoulders," he said.

The children may have headed east towards the beacon from the Plymouth Municipal Airport. Marino added: "We're looking at trouble here. That's the worst part of the swamp they might have gone into."

Richard Erland, the father of Seth and Cindy, was out with the searchers. Though all search efforts so far had been fruitless, he was still hopeful: "Those children know the woods well and the two boys have some wilderness training from Boy Scouts." He believed that the children may have found some shelter from the bad weather.

However, Paul Mahoney, a neighbor, said "Those kids could be pretty lost. It'd be impossible to stay on a path in the dark. I've gotten lost there myself."

Ken Thatcher, 22, of Plymouth, one of the volunteer searchers, said that the children faced extreme conditions. "They're wet, and it's real cold out there. We've got to get to them soon."